

みずほCustomer Desk Report 2019/11/11号 (As of 2019/11/08)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	109.39 AUD/USD
TKY 9:00AM	109.28	1.1053	120.78	1.2819	0.6899
SYD-NY High	109.48	1.1055	120.85	1.2822	0.6906
SYD-NY Low	109.08	1.1017	120.23	1.2769	0.6848
NY 5:00 PM	109.30	1.1021	120.39	1.2780	0.6860
NY DOW	27,681.24	6.44	日本2年債	-0.18	1.00bp
NASDAQ	8,475.31	40.80	日本10年債	-0.06	3.00bp
S&P	3,093.08	7.90	米国2年債	1.6793	0.10bp
日経平均	23,391.87	61.55	米国5年債	1.7498	0.88bp
TOPIX	1,702.77	4.64	米国10年債	1.9443	1.56bp
シカゴ日経先物	23,485.00	▲ 65	独10年債	-0.2640	▲ 2.85bp
ロンドンFT	7,359.38	▲ 47.03	英10年債	0.7880	▲ 0.10bp
DAX	13,228.56	▲ 60.90	豪10年債	1.2865	7.95bp
ハンセン指数	27,651.14	▲ 196.09	USDJPY 1M Vol	5.00	▲ 0.08%
上海総合	2,964.18	▲ 14.53	USDJPY 3M Vol	5.83	0.00%
NY金	1,462.90	▲ 3.50	USDJPY 6M Vol	6.30	0.00%
WTI	57.24	0.09	USDJPY 1M 25RR	-0.75	Yen Call Over
CRB指数	181.28	0.29	EURJPY 3M Vol	6.40	▲ 0.06%
ドルインデックス	98.35	0.21	EURJPY 6M Vol	6.77	▲ 0.00%

【昨日の指標等】

Date	Time	中	Event	結果	予想
11月8日	12:10	中	輸出/輸入(前年比)	10月 -6.4%/-0.9%	-7.8%/-3.9%
	12:11	中	貿易収支	10月 \$42.81b	\$40.10b
11月9日	10:30	中	CPI/PPI(前年比)	10月 3.8%/-1.6%	3.4%/-1.5%

【本日の予定】

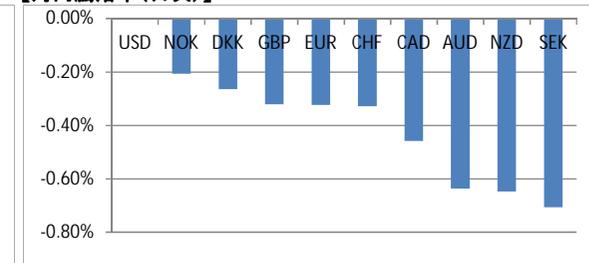
Date	Time	日	Event	予想	前回
11月11日	08:50	日	日銀金融政策決定会合 主な意見	-	-
	18:30	英	GDP(前期比/前年比)-速報	3Q 0.4%/1.1%	-0.2%/1.3%
	18:30	英	鉱工業生産(前月比/前年比)	9月 -0.1%/-1.2%	-0.6%/-1.8%
	18:30	英	製造業生産(前月比/前年比)	9月 -0.2%/-1.6%	-0.7%/-1.7%

東京	東京時間のドル円は109.28レベルでオープン。序盤は、米中貿易協議進展への期待にドル底堅い動きが先行し109.41まで上昇。一方、その水準では戻り売りも意識され、以降ドル上値重い展開。109.15まで下落したあとやや反発し、結局109.27レベルで海外へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は109.27レベルでオープン。米中貿易協議の進展を受けた楽観的なムードに水を差すようなヘッドラインは見られず、リスクオンは継続。109.48まで買われたものの、さらなる上昇には材料不足で109.37レベルでNYへ渡った。ホントドルは、1.2809でオープン、12月の総選挙を控え神経質な値動きとなり、一時1.2795を付ける局面も見られたものの、その後は動意に欠く展開となり、1.2806レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルフィー 00531 444 179 永井)
ニューヨーク	海外市場のドル円は、米中通商協議への期待感を手掛かりに108.41まで上昇するが、日経平均が上げ幅を縮小する動きに圧迫され、109.15まで反落。その後、じりじりと低下していた米金利が上昇に転じると、ドルが買い戻され、109.48を付けるが、前日高値(109.49)付近で伸び悩み、109.37レベルでNYオープン。朝方は109.30近辺でのみみ合いでスタート。その後、トランプ米大統領が「米国は中国と関税の撤回で合意していない」と述べたことが伝わると、米中貿易交渉への期待感が後退し、リスクオフの円買いを受けて、109.08まで急落。10時発表の米11月ミシガン大学消費者マインド指数が若干予想を下回ったこともドル円を圧迫した。午後は米金利が上昇に転じると、ドルも買い戻され、109.20近辺まで値を戻す。終盤にかけてダウ平均がプラス転じる中、じりじりと上昇し、109.30レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは、米金利の上昇を受けて、1.1026まで下落し、1.1033レベルでNYオープン。朝方は小幅に上昇し、1.1037まで上昇する場面もあったが、先述のトランプ米大統領発言を受けて下落したユーロ円に連れ安となり、1.1017まで下落。午後にかけてドルが買い戻される中、上値が重く、安値圏での推移が続き、1.1021レベルでクロス。

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】トランプ大統領によるトランプ大統領の支持率回復策

今年1月末にNY赴任から帰国する際に抱いていた米景気に対する肌感からすると、今年3回の利下げは違和感しか抱けず、当欄を担当するにあたり、知り合いの米国人たちに足元の米景気に対する肌感を尋ねてみた。(弱気な発言を嫌うという国民性もあるかもしれないが)彼らは総じて「景気は悪くない」と主張し、前月目立ったような米指標の落ち込みは体感していない様子。そのような状況下の利下げに対しては「モーゲージが下がるので嬉しい」というコメントが相次ぎ、更に401kのアロケーションの大半を株にしている彼らにとってこの株高も非常に喜ばしい様子。一歩引けば、金融市場も当局も全てトランプの計算通りに進んでいるように見えるのは私だけだろうか。東海岸や西海岸でのアンチトランプ感強いものの、大幅な景気悪化もなく、至極単純なメッセージと共に株高、利下げを実現しているトランプの支持率は、メディアで言われているほど低くはないと個人的には感じている。一方で、共和党の牙城州であるケンタッキー州での知事選敗北、重要なスイングステートであるバージニア州議会選での26年ぶりの民主党両院過半数制覇という忌々しき選挙結果が出てきていることも事実であり、トランプは当面大統領選再選に向けた支持率回復を意識した行動に傾倒しやすくなるだろう。年末商戦を目前に控え、まずは米株高を醸成することが彼にとっても手っ取り早く、先週金曜のような中国に対する揺すりは時折織り込みつつも、米株のトレンドを一転させるようなネガティブな言動をとる可能性は低下しそうだ。リスクオン地合のなか、ドル円が110円台を示現するのは時間の問題だろう。しかし、もう一段のドル円上昇となるとトランプからの日本の「通貨安誘導」批判といった口先介入は必至であり、当面のレンジ上限は112円としたい。(たさかまりえ)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 田坂・木村 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

	竹内	加藤	関	光石	岡本	上野	尾身	原田	玉井	ブル	ベア
Today	ベア	ベア	ベア	ブル	ベア	ブル	ブル	ブル	ブル	5	4
Week	ベア	ベア	ベア	ブル	ブル	ブル	ベア	ブル	ベア	4	5